

Ⅱ

計画の推進

1 計画の推進体制

計画を着実に推進するためには、行政はもとより、家庭や地域、学校、企業等がそれぞれの役割と責任を果たし、相互に連携協力しながら、取組みを進めていくことが大切です。

① 県における推進体制

- 山形県こども・子育て基本条例の基本理念に沿って、全庁的な推進体制である「こども・子育て 笑顔の山形県」推進本部(※1)を中心に、関係部局相互の連携を図りながら、総合的に施策を展開します。

【基本理念】

- ・ こどもの権利を尊重し、その最善の利益を優先して考慮すること。
- ・ 父母その他の保護者が、子育てについて第一義的責任を有するものであること。
- ・ 県、市町村、県民、事業者その他こども及び子育ての支援に関する取組を行う者が適切な役割分担の下に連携し、協力すること。
- ・ 結婚、出産及び子育てに関する個人の意思を尊重すること。

② 県民各層の参加と協働

- 県民総ぐるみでこども・子育て支援に積極的に取り組むため、「山形みんなで子育て応援団」(※2)や「山形県青少年育成県民会議」(※3)、各地域で展開する「地域みんなで子育て応援団」(※4)において県民運動を推進するなど、県民各層の参加と協働により施策を積極的に展開していきます。

※1「こども・子育て 笑顔の山形県」推進本部：次代の山形県を担うこどもを健やかに育成するとともに子育て家庭を社会全体で支援する環境づくりを総合的かつ効果的に推進するための、知事を本部長とする全庁的組織。

※2「山形みんなで子育て応援団」：県民総ぐるみでこども・子育て支援に積極的に取り組むため、関係団体、企業及び行政機関等が本県の少子化対策の必要性について理解を共有し、各々の役割分担に従い、連携しつつ、率先して具体的な活動を実践する県民運動の推進母体。

※3「山形県青少年育成県民会議」：次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年関係団体、企業並びに関係機関等からなる県民運動の推進母体。

※4「地域みんなで子育て応援団」：子育て家庭が応援団の活動を身近に感じ、よりきめ細かな支援を受けることができるよう、県内4地域において県民運動を行う組織。

2 各主体の役割

- 計画の推進にあたって、各主体がそれぞれの立場でその役割と責任を果たし、お互いに連携協力しながら積極的かつ主体的に取り組んでいくことが大切です。

〔県の役割〕

- こども・子育て支援及び少子化対策は、県政の最重要課題であり、計画に基づき、こどもの健やかで心豊かな育ちや若者の活躍及び子育てを支援するため、総合的に施策を推進します。施策の推進にあたっては、行政のみならず、県民、家庭、事業者、保育所等、地域社会などの役割が十分果たされるよう、必要な支援、情報提供に努めます。

〔市町村の役割〕

- 県民に最も身近な存在である市町村は、市町村が策定することも計画等に基づき、関係機関・団体等と連携のもと、結婚支援、保育、地域のこども・子育て支援、母子保健、学校・家庭教育、青少年健全育成、若者活躍などの施策をきめ細かく展開することが求められます。

〔県民の役割〕

- 県民一人ひとりがこどもの育ちや若者の活躍及び子育てに関心をもち、それぞれの立場でできることから支援していくことが求められます。
- それぞれの地域において、すべての世代の県民が互いに協力し、こどもが地域の特色ある資源を活用した自然体験、文化体験、社会体験など、本県の特色を活かした体験をすることができるよう支援していくことも大切です。

〔家庭（保護者）の役割〕

- 家庭（保護者）はこどもの発達・成長に第一義的な責任を有しており、こどもが育っていくための基礎的な場として、きわめて重要な役割を担っています。父母その他の保護者は、共に家事や育児を担い家族の絆を大切にしながら、愛情と責任を持ってこどもの模範となり、こどもが基本的な生活習慣を身に付け、健やかで心豊かな人間となるよう育むことが求められます。

〔事業者の役割〕

- 事業者は、仕事と子育ての両立を図るうえで、大きな役割と責任を担っています。育児休業取得を含めた育児参加や育児休業からの円滑な職場復帰をはじめ、働き方の見直し、女性活躍など、男女共に子育てをしながら安心して働くことができる職場環境の整備を積極的に推進することが求められます。

- 若者がワーク・ライフ・バランスを実現しながら働くことができる職場環境づくりや、若者の意欲向上や能力開発等の人材育成に資する取組みが求められます。

〔保育所・幼稚園・学校等の役割〕

- 保育所、幼稚園、認定こども園及び学校等は、こどもが家庭以外で最も長い時間を過ごす場所です。家庭や地域との連携を図りながら、こどもが心身ともに健やかに育つことができる環境づくりを進めるとともに、豊かな人間性や社会性を育み、生命をつなぐ教育の推進や、結婚や子育てを含めたライフデザイン形成支援に取り組んでいくことが求められます。

〔地域社会の役割〕

- 地域社会は、子育て家庭やこどもの健やかで心豊かな育ちを支えていくための大切な場です。町内会、子ども会など地域コミュニティをはじめ、子育てサークル、NPOなどが相互に連携しながら、こどもの遊び場や居場所の提供や安全対策など、こどもの健全育成のための取組みが求められます。
- 若者の定着や活躍を促進することは地域社会の持続可能性につながることから、地域のおとなが若者の活動に関心を持ち、理解し、応援する雰囲気づくりが大切です。

3 計画の評価等

① 計画の評価体制

- 施策の評価は、「こども・子育て 笑顔の山形県」推進本部において行います。
- 施策の評価に際しては、外部委員等からなる「こども・子育て 笑顔の山形県推進協議会」(※5)において、外部評価を行います。

② 評価手法

- 計画に盛り込まれた施策については、数値目標を設定し、毎年度、その状況を把握・検証することで、計画の進捗状況进行评估します(数値目標は、P139・140に記載)。

③ 評価を踏まえた対応

- 評価結果は、翌年度以降の施策の改善につなげていきます。
- 評価結果については、毎年度その内容を公表します。

※5 こども・子育て 笑顔の山形県推進協議会：県民が「こどもが笑顔の山形県」「子育てするなら山形県」と誇れる地域社会の実現に向けて、県民と行政、企業が一丸となり、それぞれの立場で、こどもと子育て家庭への支援の取組みを推進するための組織で、外部委員等からなる。